

## 1 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

|         |                |            |           |
|---------|----------------|------------|-----------|
| 事業所番号   | 4490100288     |            |           |
| 法人名     | 有限会社 アテネ       |            |           |
| 事業所名    | グループホームはなみずき   |            |           |
| 所在地     | 大分市大字駕野1183番地1 |            |           |
| 自己評価作成日 | 令和4年6月28日      | 評価結果市町村受理日 | 令和4年8月23日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 [http://www.kaigokensaku.jp/44/index.php?action=kouhyou\\_detail\\_2014\\_022\\_kani=true&JigyosyoCd=4490100288-00&PrefCd=44&VersionCd=022](http://www.kaigokensaku.jp/44/index.php?action=kouhyou_detail_2014_022_kani=true&JigyosyoCd=4490100288-00&PrefCd=44&VersionCd=022)

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                                 |
|-------|---------------------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人第三者評価機構                |
| 所在地   | 大分市上田町三丁目3番4-110号 チュリス古国府壱番館 1F |
| 訪問調査日 | 令和4年7月15日                       |

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

数戸駅から5分の閑静な住宅街に立地しており、周囲の環境に恵まれています。毎年地域のボランティアを受け入れ夏祭り等を開催していましたが新型コロナウイルスの流行により外出や地域の行事に参加することが難しく実現でき無い状態は続いているのでコロナ禍でも出来るイベントとして季節感のある行事(ひな祭り、端午の節句、七夕、クリスマス会等)を実施しています。現在は重度要介護者が増えてきましたが、寝たきりにならないように体調を考慮しながら出来る限りリビングで過ごして頂き、生活の中で周囲から刺激が入るようにしている。異常の早期発見・対応・主治医と連携を図っており、重症化しないように努めている。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

長期化するコロナ禍により、面会や外出行事・地域交流等が制限されていましたが、今年度は、利用者がホーム内で安全に楽しく過ごすことを目標の一つに掲げて取り組んでいます。その中で利用者の希望に添い好物を手作りするランチパーティーは好評を得ています。また、レクリエーションは四季折々の行事をすることで、楽しさを五感でもって感じるよう支援の中に取り入れています。利用者の重度化が進む中、笑顔を引き出すことはもとより、一人ひとりのペースに合わせた生活を出来る限り継続していきけるよう取り組んでいます。家族アンケートの中にも「家庭生活の延長線上にあるような細かな心配りで介護をしている。」と感謝の言葉を頂いています。

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項 目 |                                                      | 取 り 組 み の 成 果<br>↓該当するものに○印 |                                                                   | 項 目 |                                                                     | 取 り 組 み の 成 果<br>↓該当するものに○印 |                                                                   |
|-----|------------------------------------------------------|-----------------------------|-------------------------------------------------------------------|-----|---------------------------------------------------------------------|-----------------------------|-------------------------------------------------------------------|
| 56  | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)       | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらいの<br>3. 利用者の1/3くらいの<br>4. ほとんど掴んでいない | 63  | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)   | ○                           | 1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 57  | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)             | ○                           | 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                  | 64  | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     | ○                           | 1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 58  | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                   | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 65  | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | ○                           | 1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くいない           |
| 59  | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)     | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 66  | 職員は、活き活きと働けている<br>(参考項目:11,12)                                      | ○                           | 1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 60  | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                  | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 67  | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61  | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)         | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 68  | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | ○                           | 1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 62  | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている<br>(参考項目:28) | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |     |                                                                     |                             |                                                                   |

# 自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

| 自己<br>外部   | 項目  | 自己評価                                                                                          | 外部評価                                                                                      |                                                                                                                                   |                                                                                      |
|------------|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
|            |     | 実践状況                                                                                          | 実践状況                                                                                      | 次のステップに向けて期待したい内容                                                                                                                 |                                                                                      |
| Ⅰ.理念に基づく運営 |     |                                                                                               |                                                                                           |                                                                                                                                   |                                                                                      |
| 1          | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている                            | 「職員は利用者さんを自分の祖父母と思い、心を込めてお世話する」を理念とし、その実践に向けて理念は常に職員の目につく場所に掲示しており日々意識をしながら日常の業務についています。  | 理念について毎月の会議で確認し、年1回見直しも行われ共有と実践に繋がっています。イベントやランチパーティー(手作り)等メリハリのある家庭的な生活が送れるよう工夫しています。                                            |                                                                                      |
| 2          | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している                            | 夏祭り、運動会、運営推進会議、福祉課高校生の実習受け入れ、ボランティアの受け入れ等以前は多数の交流の機会がありましたが、現在はコロナ感染防止の為、施設開放が出来ていない状況です。 | 地元自治会へ法人会員として協力しています。コロナ禍で交流の機会が減っており、現状で出来ることを職員で検討する中、地域の清掃活動の参加・高校生の実習受け入れ、災害時の地域との連携等できることに取り組んでいます。                          |                                                                                      |
| 3          |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている                          | 地域の包括支援センターや民生委員の方を通じて施設の存在や支援している事を呼び掛けています。高校生の実習生を受け入れ、人材の育成を行っています。                   |                                                                                                                                   |                                                                                      |
| 4          | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている       | 会議は2カ月に1回開催し、市の職員、包括支援センター、民生委員、自治会長、家族代表、職員での情報交換を行っていましたが現在は新型コロナ感染症対応により文章での開催となっています。 | 2ヶ月毎に、運営推進会議を開催していましたが、現在は感染症予防の為、書面での報告を行っています。利用者の活動や近況報告、今後の行事予定・家族の意見・感想をまとめ・市や地域包括支援センター職員・地域代表・家族に送付し、意見を伺いサービスの向上に活かしています。 |                                                                                      |
| 5          | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる                 | 新型コロナ対策で運営推進会議は文書で意見、要望を伺っています。行政への申請、連絡の時など必要時には電話や窓口でアドバイスをもらっています。                     | 行政とはFAX・メール・電話での情報交換が主となっています。運営推進会議録を提出し、意見や相談等を伺い事業所の実情やケアの取り組みを伝え、協力関係を築いています。                                                 |                                                                                      |
| 6          | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 「拘束をしないケア」については徹底して職員の意識づけを行っています。スピーチロックについては常に気を配り傾聴に重点をおき気持ちを察するよう心がけています。             | 身体拘束廃止・虐待防止について年1回の研修・フロア会議等で、周知徹底した取り組みを実践するよう話し合っています。グレーゾーンの対応については、具体的なケースをもとに検討し、職員の理解を深めるための取り組みに力を入れています。                  | 身体拘束廃止の研修において、コロナ禍により内部研修や外部研修の講師の派遣等、困難な状況にありますが、ビデオ研修・資料による勉強会を開催する等工夫されることを期待します。 |
| 7          |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている       | 社内研修では高齢者の権利擁護や身体拘束に関する研修を行い虐待や不適切ケアを行わない為にどの様にしたら良いか職員会議で話し合い取り組んでいます。                   |                                                                                                                                   |                                                                                      |

| 自己 | 外部  | 項目                                                                                             | 自己評価                                                                                         | 外部評価                                                                                                 |                                                                                      |
|----|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
|    |     |                                                                                                | 実践状況                                                                                         | 実践状況                                                                                                 | 次のステップに向けて期待したい内容                                                                    |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 必要に応じ、市担当者をはじめとする関係者と話し合い、権利擁護や青年後見人制度の活用の有無を検討する支援を行っています。定期的に行なわれる施設内研修では権利擁護について学んでいます。   |                                                                                                      |                                                                                      |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | 契約は管理者により、利用契約、同意書等書面に基づき十分の説明後納得されたうえで署名、捺印をして頂いています。入退去時は管理者が不安、問題点を訪ね十分な説明を行っています。        |                                                                                                      |                                                                                      |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                     | 以前は契約時や面会時に家族より意見を聴くようにしていましたが、現在の様に面会が難しい状況下では、必要に応じて家族様に連絡をいれて意見・要望を聞く機会を設けています。           | 家族の窓口での訪問時に、現状の説明や要望等の聞き取りを行い、メールや電話で意見・要望の把握に努めています。                                                | コロナ禍により家族の訪問もままならない状況にあると思われますが、連絡時の手紙の中に、利用者の近況報告として、今迄以上に詳しく書いて送られると、信頼に繋がると思われます。 |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | フロア会議や全体会議を毎月実施し、職員の意見を日頃の業務に反映させ意見及び、提案を受け業務の見直しや、ケアの負担軽減を考えた職場環境を作れるように努めています。             | 管理者は日々のケアの中で、職員とのコミュニケーションを図りながら意見や要望を聞き取り、全員で検討する中 ストレス軽減や重度化による介護の体力的負担の軽減等に取り組む、働きやすい環境作りに努めています。 |                                                                                      |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 有給休暇の取得がし易いように配慮し、希望があれば資格取得への支援をしています。職員から意見を聴き各職員の勤務状況に負担がないよう勤務時間や職場環境に配慮しています。           |                                                                                                      |                                                                                      |
| 13 |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | コロナ禍で、外部研修は少なかったが、希望する職員は様々な研修に参加しています。新人教育の教育係は全員が経験するシステムで、教育係の職員も自己の介護をチェックできるように工夫しています。 |                                                                                                      |                                                                                      |
| 14 |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 法人内の他の施設の見学や、職員の応援勤務などで交流を図っています。以前は交換実習の取り組みも積極的に行い情報交換に努めていたが今はコロナ禍の為自粛しています。              |                                                                                                      |                                                                                      |

| 自己<br>外部            | 項目  | 自己評価                                                                                 | 外部評価                                                                                         |                                                                                                            |  |
|---------------------|-----|--------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
|                     |     | 実践状況                                                                                 | 実践状況                                                                                         | 次のステップに向けて期待したい内容                                                                                          |  |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 |     |                                                                                      |                                                                                              |                                                                                                            |  |
| 15                  |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入居前の面接にて本人の思いの把握に努め全職員がその情報を共有できるように努めています。入所後は不安の無いように傾聴を心がけ本人の思いや希望に寄り添えるサービス提供を心がけています。   |                                                                                                            |  |
| 16                  |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | 入居前に施設の概要の説明をご家族の納得いくまで話をしています。不安なこと、問題点、要望等の聞き取りをしてその都度、対応しています。何かあれば家族が相談しやすいように声掛けをしています。 |                                                                                                            |  |
| 17                  |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | 計画作成担当者、管理者が情報を共有して可能な限り柔軟な対応をして、「その時」必要なサービスであれば同意の上他の事業所のサービスに繋げることも有ります。                  |                                                                                                            |  |
| 18                  |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                        | 利用者の好きな事、得意な事を見極めて、手伝ってもらったり教えてもらったりしながらお互いが家族の様な関係づくりをしています。尊厳を持って接することができるように心掛けています。      |                                                                                                            |  |
| 19                  |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | コロナ禍で面会はガラス越しでしかできませんが 面会に来られた際は現在の状況や様子を報告し、変化や気になることがあればその都度連絡を取るようにしています。                 |                                                                                                            |  |
| 20                  | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                     | コロナ禍で、対面での面会や外出が困難なっていますが、予防対策を取りながらガラス越しやフェイスシールドを用いた面会など状況に合わせた面会方法を検討し実施しています。            | 感染対策を徹底し、家族や馴染みの方の面会等を行っていますが、外出等の馴染みの人や場との関わりが少なくなっています。コロナ禍でも出来ることを工夫し、手紙や電話等で近況報告を行い、趣味や習慣の継続支援を行っています。 |  |
| 21                  |     | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                 | 利用者同士の関係を把握し、食事の席やソファの席を決めている。居室に閉じこもらないように声掛けをして一緒にお茶をしたり、会話ができる環境作りを心掛けています。               |                                                                                                            |  |
| 22                  |     | ○関係を断ち切らない仕組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている  | 契約が終了した後も今後の事について相談にのったり、次の施設に本人の情報を提供しています。直接の要請があれば相談や支援にも努めています。                          |                                                                                                            |  |

| 自己                          | 外部   | 項目                                                                                                     | 自己評価                                                                                    | 外部評価                                                                                            |                   |
|-----------------------------|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|                             |      |                                                                                                        | 実践状況                                                                                    | 実践状況                                                                                            | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント |      |                                                                                                        |                                                                                         |                                                                                                 |                   |
| 23                          | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                                           | 利用者の日常生活の中での言動、行動、表情などに関心を持ち、「本人にとって何が最良なのか」を考え支援に生かしています。今までの生活歴から希望や意向の把握に努めています。     | 入所時に、家族の情報から利用者の生活歴を作成し、職員間で共有する中、日々のケアで気付いた利用者の思いや意向・エピソード等を記録や口頭で把握し情報共有を図っています。              |                   |
| 24                          |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | 本人や家族から情報提供をしてもらい、入居前の生活歴、生活環境、以前利用していたサービスの経過等の情報を得てこれまでの状況が把握できるように努めています。            |                                                                                                 |                   |
| 25                          |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている                                                     | 毎日のケア記録や申し送りから生活リズムを把握し本人の喜怒哀楽や健康状態など記録して、職員間で情報の共有を行い、現状把握に努めています。                     |                                                                                                 |                   |
| 26                          | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 毎月開催しているモニタリングでは日常生活の中での職員の気づき、情報をもとに意見を交換し出来る事、出来ない事を話し合いプラン作成しています。                   | 毎月のモニタリングで職員の意見やケース記録をもとに達成状況を判断し、必要があれば見直しに繋げています。計画作成時には家族の意見・利用者の思い等を参考に、現状に即した介護計画を作成しています。 |                   |
| 27                          |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 日々の様子は経過記録に記録し、普段と違う様子があればノートや口頭で職員全員に確実に申し送り、素早く対応できるようにしています。その内容は毎月のフロー会議でも活かされています。 |                                                                                                 |                   |
| 28                          |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | 本人の状況や家族の希望に配慮しながら、受診の付き添い等柔軟に対応しています。病院受診の際は、コロナ禍の為職員が付き添い対応しています。                     |                                                                                                 |                   |

| 自己 | 外部   | 項目                                                                                                                  | 自己評価                                                                                                        | 外部評価                                                                                                                |                                                      |
|----|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|
|    |      |                                                                                                                     | 実践状況                                                                                                        | 実践状況                                                                                                                | 次のステップに向けて期待したい内容                                    |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | ボランティアの受け入れや秋祭りなどの参加で地域の人と交流し地域の一員として溶け込み安心した生活が送れるよう支援に努めていましたが、最近ではコロナ禍で実行に至っていないところがあります。                |                                                                                                                     |                                                      |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                  | 入居時に本人や家族の希望を伺いかかりつけ医を決めています。希望により往診の支援も行っています。専門医等の受診に際しては、本人、家族の希望を確認しています。                               | 利用者本人・家族の希望する、かかりつけ医となっています。専門医への受診については基本家族対応ですが、コロナ禍でもあり職員が対応しています。主治医・薬局・家族・施設と密に連携を取り、スムーズに適切な医療が受けられるよう努めています。 |                                                      |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 月に一度、訪問看護を受け常に本人の健康管理を行い、状態の変化があった場合常勤の看護師により主治医との連携が速やかにとれる体制が確保されています。                                    |                                                                                                                     |                                                      |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院した際は、病院と連絡を取り状態の把握を行っています。現在はコロナ禍で面会制限があり状況の把握が難しいところもあるが、ご家族や医療機関と情報交換を行っています。                           |                                                                                                                     |                                                      |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる   | 契約時に「重度化した場合における対応に係る指針」の説明をして施設が対応し得るケアについて説明を行っています。看取りを希望された時は本人・家族・主治医・看護師と連携を取り納得のいく終末期を過ごせるよう支援しています。 | 契約の際、利用者本人・家族へ重度化や終末期ケアに向けた説明をし、同意を得ています。看取りの経験もあり、緊急時の連絡体制も整っています。コロナ禍の中、看取りについては、家族の思いを大切に支援されています。               |                                                      |
| 34 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている                                              | 緊急時連絡網は事務所内に掲示しています。急変時のマニュアルは常に目に見える場所に掲示されています。異常時は夜中でも管理者および看護師に報告するようにしています。                            |                                                                                                                     |                                                      |
| 35 | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている                                              | 定期的に避難訓練を実施し、避難経路、避難場所の確認、消火器の使い方等の訓練を行っています。年2回の防火訓練のうち1回は人数の少ない夜間を想定し実施しています。                             | 年2回の避難訓練のうち、1回は夜間を想定した訓練を行っています。消火器の取り扱いや避難経路・避難場所の確認をその都度行っています。施設の周辺は山に囲まれているため、独自の対策に取り組まれています。                  | 施設周辺は山に囲まれており、施設独自の対策に取り組まれています。安全確保への早急な対策作りを期待します。 |

| 自己                        | 外部   | 項 目                                                                              | 自己評価                                                                                     | 外部評価                                                                                          |                   |
|---------------------------|------|----------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|                           |      |                                                                                  | 実践状況                                                                                     | 実践状況                                                                                          | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 |      |                                                                                  |                                                                                          |                                                                                               |                   |
| 36                        | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                   | 利用者の尊厳やプライバシーを重んじた声掛けや介助を行うように心がけ、丁寧かつ分かりやすい声掛けを行いながらグループホームならではの暖かく親しみのある会話を心がけています。    | 利用者の中には意思表示が出来ない方が多く、コミュニケーションを取ることが難しくなっていますが、利用者の目線や表情から状態の観察を行い尊厳やプライバシーを大切に、支援に取り組まれています。 |                   |
| 37                        |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                     | 意思表示ができるように傾聴をしている。表現を出すのが難しい利用者さんについても、表情・行動を注意深く観察することにより、思い・希望に添った支援が出来るよう努めています。     |                                                                                               |                   |
| 38                        |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 本人のペースに合わせて起床したり、就寝したりしています。健康阻害や危険が及ばない限り入居者の意見を尊重して支援をさせて頂いています。                       |                                                                                               |                   |
| 39                        |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | 本人の希望に添いながら季節にふさわしく過ごしやすい服装をしていただくよう声かけしている。己決定が難しい方には、本人の気持ちに添った支援を心掛けている。              |                                                                                               |                   |
| 40                        | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | 運搬食のため調理と一緒にする機会はないが、家庭的な雰囲気のもと食事ができるように工夫しています。<br>に数回入居者と職員が一緒におやつ作りやランチパーティーを開いています。  | 外部に調理を依頼していますが、ご飯は施設で炊いています。おやつ作りは、季節感のある物や郷土にちなんだ物を作り、家庭的な雰囲気を醸し出した支援に取り組まれています。             |                   |
| 41                        |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている          | 一人一人の状態や疾病に応じ、食事の形態の工夫し提供しています。利用者の嚥下や咀嚼力に応じて、粥やきざみにして出している。脱水当にも注意を払い、夜間の水分補給にも留意している。  |                                                                                               |                   |
| 42                        |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                   | 毎食後全員口腔ケアを行っています。義歯の方は週1回もしくは本人の希望で毎日義歯洗浄を行っています。口腔内に不具合が生じた際は、家族の了承を得た上で歯科医の往診を依頼しています。 |                                                                                               |                   |

| 自己 | 外部   | 項目                                                                                                          | 自己評価                                                                                            | 外部評価                                                                                                                           |                   |
|----|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |      |                                                                                                             | 実践状況                                                                                            | 実践状況                                                                                                                           | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている                              | 個々の排泄パターンの把握をして、トイレへの声掛けや介助を行い、できるだけトイレでの排泄を心がけています。夜間は、安眠できるように就寝前のトイレ誘導を実施し起床時はトイレの声掛けをしています。 | トイレでの排泄を基本にしています。排泄パターンからさりげなく声掛けを行い、無理のないよう支援しています。夜間はオムツ対応の方も、日中はできるだけ紙パンツを使用し、トイレでの排泄を心掛けています。職員全員で自立に向けた、排泄介助に取り組まれています。   |                   |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                                              | 身体を動かす機会を設けて、自然に排便が出来るよう予防に取り組んでいます。頑固な便秘の方には医師と相談し適量の緩下剤使用したり浣腸をする等の対処をしています。                  |                                                                                                                                |                   |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている                        | 入浴は週2回で曜日を決定しているが、体調や必要性に応じて対応しています。入浴回数も必要に応じて増やしています。本人の気分や体調に合わせ、希望に沿うよう対応しています。             | 週2回が基本となっていますが、曜日の変更や午前・午後の変更なども、利用者の希望に沿って臨機応変に対応できる支援への取り組みが行われています。                                                         |                   |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している                                               | 生活リズムが整うように支援しているが、人それぞれの時間があるため、支援の時間都度対応できるようにしています。居前での生活リズムを把握し、その方にあった睡眠時間に合わせています。        |                                                                                                                                |                   |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている                                          | 処方箋ファイルを作成し、いつでも確認ができるようにしている。臨時薬や処方変更など薬に関することは伝達ノートに記載し情報の共有できるようにしています。                      |                                                                                                                                |                   |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                             | 一人ひとりの有する力や生活歴を生かし、役割や楽しみのある生活を支援している。洗濯たみ等個々の能力に合わせお願いし継続することで、責任感、達成感や満足感得られるよう支援しています。       |                                                                                                                                |                   |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | コロナ対策の為外出に制限があり施設敷地内の散歩や日光浴にとどまっていますが今後感染者数が減少するようなら状況を見て気分転換のドライブや外出レク等、年間の計画を立てて支援しようと思います。   | コロナ禍の中、施設として出来る事を工夫されています。施設敷地内の花壇の水やりや散歩、5月には車で近隣の神社へ「藤の花」を見学に行く等、コロナ禍ではありますが、外出支援に取り組まれています。買い物は、家族と相談の上職員が購入するなどの対応を行っています。 |                   |

| 自己 | 外部   | 項 目                                                                                                                              | 自己評価                                                                                                         | 外部評価                                                                                                             |                   |
|----|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |      |                                                                                                                                  | 実践状況                                                                                                         | 実践状況                                                                                                             | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している                                                  | コロナ禍前は希望に応じ買い物支援を実施していたが、現在は介護度の重度化によりお金を所持し精算することが困難になっている為個人的な買い物は家族と相談の上職員が対応しています。                       |                                                                                                                  |                   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている                                                                           | 本人の希望があれば家族に電話をかけたり、家族からの電話を取り次いだりしています。また何名かは年賀状のやり取りもしています。                                                |                                                                                                                  |                   |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共同の空間は清潔に保ち、季節ごとの作品を飾る等の工夫で家庭的な雰囲気大切にしています。ソファを置くことで自由にくつろいでもらうようにしています。室温管理もこまめに行いながら、心地よく過ごして頂けるよう支援しています。 | 共同の空間は、整理整頓されており壁に季節感を目で楽しむことが出来るように、折り紙で折った浴衣に利用者の写真を貼り、七夕飾りの下に飾るなど、季節感を楽しんでいます。居間の温度調整に注意し、居心地良く過ごせるように努めています。 |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている                                                      | ホールでのテーブル席は、入居者の相性を考慮し配置を決めています。仲の良い利用者同士で過ごせるような席の配慮を行い気の合う人とお話が出来るようにソファを設置しています。                          |                                                                                                                  |                   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                                          | 居室には自宅から持ってきたなじみのある物を置き自宅生活の延長として居心地よく過ごして頂けるよう努めています。写真や思い出の品などを飾り、個々の個性に合わせた部屋作りを行っています。                   | 利用者が、自宅で使用していた箆笥や椅子、家族の写真やぬいぐるみ等馴染み深いものを持ち込まれており、利用者が違和感なく安心して暮らせる支援に取り組まれています。                                  |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している                                             | 施設内では一人ひとりの力量に応じて完全に独立した生活が送れるよう手すりの設置や障害物の排除を行っている。過剰な介護はせず持っている機能が低下しないように心掛けている。                          |                                                                                                                  |                   |